

## 2018 年度京都 YMCA 国際福祉専門学校 自己点検・評価表

### 1. 学校の教育目標

学校法人京都 YMCA 学園はキリスト教団体として、イエスキリストの生き方にもとづき、人間性が尊ばれ、平和で公正な世界の実現をめざして策定された「京都YMCAPLAN125」に基づいて運動・事業を展開しています。京都YMCA国際福祉専門学校においても、学校そのものがこの使命を追求していきます。同時に学生自身が共感し、実践できる人材として成長できるように援助し、専門分野において十分な貢献を果たせるように、また地域社会ひいては広く世界の「平和と公正」に寄与できる人材を養成したいと考えます。

### 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- ①. 地域ニーズを踏まえ、行政機関や就業先、他 YMCA 等と連携し、学生募集を行う。
- ②. 全学科において外国人学生の拡大を目指す。
- ③. 学科間・2校間の連携による業務連携や教職員の働き方改革を通して運営の合理化を図り、収支均衡を目指す。
- ④. 学校評価への組織的な取り組みや教職員研修を通じて、各校の質的向上を目指す。

### 3. 評価項目の達成及び取組状況

#### (1) 教育理念・目標

| 評価項目                                         | 適切...4, ほぼ適切...3,<br>やや不適切...2, 不適切...1 |
|----------------------------------------------|-----------------------------------------|
| 理念・目的・育成人材像は定められているか<br>(専門分野における職業教育の特色は何か) | 4   ③   2   1                           |
| 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか                 | ④   3   2   1                           |
| 理念、目的、育成人材像、特色、将来構想などが生徒保護者等に周知されているか        | 4   ③   2   1                           |
| 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか | ④   3   2   1                           |

#### <課題>

・各学科における仕上がり像を特色として明確にし、学生や保護者に示す必要がある。

#### <今後の改善方策>

- ・入学ガイダンスや学期間での定期的学生面接の充実を図る。

## (2)学校運営

| 評価項目                                     | 適切...4,ほぼ適切...3, やや不適切...2,不適切...1 |
|------------------------------------------|------------------------------------|
| 目的等に沿った運営方針が策定されているか                     | ④ 3 2 1                            |
| 事業計画に沿った運営方針が策定されているか                    | ④ 3 2 1                            |
| 運営組織や意志決定機能は,規則等において明確化されているか,有効に機能しているか | ④ 3 2 1                            |
| 人事,給与に関する制度は整備されているか                     | 4 ③ 2 1                            |
| 教務,財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか           | 4 ③ 2 1                            |
| 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか          | 4 ③ 2 1                            |
| 教育活動に関する情報公開が適切になされているか                  | 4 ③ 2 1                            |
| 情報システム化等による業務の効率化が図られているか                | 4 ③ 2 1                            |

### <課題>

- ・教職員会議、各学科会議など組織的な意思決定プロセスを定例化する必要がある。

### <今後の改善方策>

- ・各会議の役割機能の明文化と学事への組み込み。

### <特記事項>

- ・各学科担当教員間の運営方針の統一理解と連携が重要である。

## (3)教育活動

| 評価項目                           | 適切...4,ほぼ適切...3, やや不適切...2,不適切...1 |
|--------------------------------|------------------------------------|
| 教育理念等に沿った教育課程の編成実施方針等が策定されているか | 4 ③ 2 1                            |

|                                                                   |   |   |   |   |
|-------------------------------------------------------------------|---|---|---|---|
| 教育理念,育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。 | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか                                           | 4 | ③ | 2 | 1 |
| キャリア教育実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫開発などが実施されているか。                 | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 関連分野の企業関係施設等,業界団体等の連携により,カリキュラムの作成見直し等が行われているか                    | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ,実技実習等)が体系的に位置づけられているか            | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 授業評価の実施評価体制はあるか                                                   | 4 | 3 | ② | 1 |
| 職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか                                         | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 成績評価単位認定の基準は明確になっているか                                             | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 資格取得の指導体制,カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか                                  | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか                              | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 関連分野における業界との連携において優れた教員(本務兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか          | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 関連分野における先端的な知識技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか          | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 職員の能力開発のための研修等が行われているか                                            | 4 | ③ | 2 | 1 |

<課題>

- ・業界関係者との連携によるカリキュラム作りが不十分である。
- ・国家試験合格率を目指すカリキュラム作りが必要である。

・学生アンケート評価以外の授業評価方法が確立されていない。

<今後の改善方策>

- ・業界関係者との定期的ヒアリングの実施
- ・新たな授業評価制度の確立
- ・カリキュラムの見直し

#### (4)学修成果

| 評価項目                                   | 適切…4,ほぼ適切…3,<br>やや不適切…2,不適切…1 |
|----------------------------------------|-------------------------------|
| 就職率の向上が図られているか                         | ④ 3 2 1                       |
| 資格取得率の向上が図られているか                       | ④ 3 2 1                       |
| 退学率の低減が図られているか                         | 4 ③ 2 1                       |
| 卒業生在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか              | 4 ③ 2 1                       |
| 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。 | 4 ③ 2 1                       |

<課題>

- ・卒業後の就業状況の追跡調査が不十分である。
- ・卒業生のネットワークの構築が困難である。

<今後の改善方策>

- ・ICTを活用した定期的な卒業生調査。

#### (5)学生支援

| 評価項目                      | 適切…4,ほぼ適切…3, や<br>やや不適切…2,不適切…1 |
|---------------------------|---------------------------------|
| 進路就職に関する支援体制は整備されているか     | ④ 3 2 1                         |
| 学生相談に関する体制は整備されているか       | ④ 3 2 1                         |
| 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか | ④ 3 2 1                         |
| 学生の健康管理を担う組織体制はあるか        | 4 ③ 2 1                         |

|                                        |   |   |   |   |
|----------------------------------------|---|---|---|---|
| 課外活動に対する支援体制は整備されているか                  | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 保護者と適切に連携しているか                         | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 卒業生への支援体制はあるか                          | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 高校,高等専修学校等との連携によるキャリア教育職業教育の取組が行われているか | 4 | ③ | 2 | 1 |

<課題>

- ・公的奨学金や学校独自の奨学金制度の創設
- ・学生の状況に応じた経済的支援体制の充実

<今後の改善方策>

- ・奨学金の新たな創設と拡充
- ・就学先からの就学支援金等経済的支援方法の確立

(6)教育環境

| 評価項目                                       | 適切…4,ほぼ適切…3,<br>やや不適切…2,不適切…1 |   |   |   |
|--------------------------------------------|-------------------------------|---|---|---|
| 施設設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか             | 4                             | ③ | 2 | 1 |
| 学内外の実習施設,インターンシップ,研修旅行等について十分な教育体制を整備しているか | 4                             | ③ | 2 | 1 |
| 防災に対する体制は整備されているか                          | 4                             | ③ | 2 | 1 |

<課題>

- ・校舎内のICT環境の充実

<今後の改善方法>

- ・校舎の施設整備の計画的実施

(7)学生の受入れ募集

| 評価項目               | 適切…4,ほぼ適切…3,<br>やや不適切…2,不適切…1 |   |   |   |
|--------------------|-------------------------------|---|---|---|
| 学生募集活動は,適正に行われているか | 4                             | ③ | 2 | 1 |

|                             |         |
|-----------------------------|---------|
| 学生募集活動において,教育成果は正確に伝えられているか | 4 ③ 2 1 |
| 学納金は妥当なものとなっているか            | 4 ③ 2 1 |

<課題>

- ・募集活動が効果的に行われていない。
- ・外国人人材の募集計画が必要である。

<今後の改善方策>

- ・全国にあるYMCA他学校との連携広報
- ・外国人福祉人材の募集実施

(8)財務

| 評価項目                     | 適切…4,ほぼ適切…3,<br>やや不適切…2,不適切…1 |
|--------------------------|-------------------------------|
| 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか | 4 3 ② 1                       |
| 予算収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか  | 4 ③ 2 1                       |
| 財務について会計監査が適正に行われているか    | ④ 3 2 1                       |
| 財務情報公開の体制整備はできているか       | 4 ③ 2 1                       |

<課題>

- ・教育活動収支の均衡を保ち、財政基盤を安定化する必要がある。

<今後の改善方策>

- ・合理的な運営による支出の削減

(9)法令等の遵守

| 評価項目                          | 適切…4,ほぼ適切…3,<br>やや不適切…2,不適切…<br>1 |
|-------------------------------|-----------------------------------|
| 法令,専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか | ④ 3 2 1                           |
| 個人情報に関し,その保護のための対策がとられているか    | 4 ③ 2 1                           |

|                       |   |   |   |   |
|-----------------------|---|---|---|---|
| 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 自己評価結果を公開しているか        | 4 | ③ | 2 | 1 |

<課題>

- ・学科の特性に合わせた自己評価のあり方を検討する必要がある。

<今後の改善方策>

- ・各学科における自己評価方法の見直しと組織的評価の仕組み作り

(10)社会貢献地域貢献

| 評価項目                                    | 適切…4,ほぼ適切…3,<br>やや不適切…2,不適切…1 |   |   |   |
|-----------------------------------------|-------------------------------|---|---|---|
| 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献地域貢献を行っているか          | 4                             | ③ | 2 | 1 |
| 生徒のボランティア活動を奨励,支援しているか                  | ④                             | 3 | 2 | 1 |
| 地域に対する公開講座教育訓練(公共職業訓練等)の受託等を積極的に実施しているか | 4                             | ③ | 2 | 1 |

<課題>

- ・地元周辺地域との関わりが不十分である。
- ・地域に対する公開講座が不十分である

<今後の改善方策>

- ・公益財団法人京都YMCAと連携し、地元周辺地域への活動参加の機会を増やす。